

神石高原町教育講演会のご案内

本町では合併後「人づくり」を基本とした新町建設計画を策定しています。また、教育行政においても「人づくり」という側面から、教育改革の動向に視点を置き「神石高原町」という新しい町づくりへの未来を託す教育や、新しい町づくりを担う人材の育成などを基本理念とした教育行政施策を策定し、未来を拓く人と文化の創造を願う「神石高原町教育」を目指しているところです。

その一環として、次のとおり教育講演会を開催しますので、多数ご参加ください。

日時：2月28日(木)午後6時30分～8時30分

場所：三和公民館 2階 大集会室

講師：江川 紹子 さん (ジャーナリスト)

演題：『大人と子どものための夢の探し方』

(入場料は無料)



江川 紹子さんのプロフィール

昭和33年東京都生まれ。早稲田大学を卒業後、神奈川新聞社へ入社、29歳で退社しフリーライターとなる。

平成元年 坂本弁護士一家殺害事件以来、オウム真理教を取材追及する一方、国際情勢や国内の社会問題、教育問題、人権・平和など幅広く積極的に取材・執筆し、数多くの著書を出している。

また、TBS『サンデーモーニング』などテレビ、報道の現場で活躍しているジャーナリスト。

選定理由

校名 「神石高原中学校」：町民に親しみやすく町外の人にもわかりやすい。出身校を紹介する場合、地名が入った名称がわかりやすい。

寮名 「高原寮」：高原リゾートのように、さわやかなイメージをもつ寮であってほしい。

新しい中学校の「校名」「寮名」採用者を表彰

平成26年4月に開校する新しい中学校の校名、寮名を昨年10月から募集したところ、町内外の方から86点の応募をいただきました。校名「神石高原中学校」については佐藤奈緒美さん(福永)の作品が、寮名「高原寮」については末原啓亮さん(油木中学校3年)の作品がそれぞれ採用されることになりました。採用となった2人にはそれぞれに、教育長から表彰状と副賞が手渡されました。



佐竹教育長から表彰状を受け取る末原さん



力強く吹鳴するラッパ隊の皆さん

安心・安全・住みよい町をめざして

平成25年神石高原町消防団出初式



新入団者の辞令交付の様子

陽介団員が、規律正しく辞令書を受け取り、力強く宣誓を行いました。

本年は役員改選および組織再編が行われ、橋本団長のもと新たな役員・組織体制で消防団活動を行うこととなりました。団長から「消防団は火災の発生を防ぐこと、火災が発生した場合はいち早い消火活動を行うこと、自然災害時には救助活動を含め災害に対処するなど、住民の生命・財産を守ることを使命として団員が一致団結し、消防団としての責務を果たそう」と訓示があり、団員たちは決意を新たにしました。

1月27日、油木体育館で平成25年神石高原町消防団出初式が挙行されました。各方面から消防団員が集結し、広島県消防協会長をはじめ、多数の来賓のご臨席のもと盛大に開催されました。

式では、新入団員ならびに役員任命の辞令交付や県知事表彰、消防協会長表彰など各種表彰状の授与が行われました。新入団者辞令交付では、21名を代表して油木方面隊の若林

春の火災予防運動

火災が発生しやすい季節になりました。火の取り扱いには十分注意して火災を予防しましょう。

実施期間 3月1日(金)から3月7日(木)まで
 全国統一防火標語 **消すまでは 出ない行かない 離れない**

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント - 3つの習慣・4つの対策 -

【3つの習慣】

- ◎寝たばこは、絶対にしない。
- ◎ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ◎ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- ◎逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器などを設置する。
- ◎寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- ◎火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ◎高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

※住宅用火災警報器・消火器の悪質訪問販売などに注意しましょう。